

広島県経済の動向
1. 概要

指 標	R3年		
	6月	7月	9月
基調判断	持ち直しのペースが鈍化している	下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある	持ち直しの動きが一服している
輸出	持ち直しのペースが鈍化している	自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある	自動車を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しのペースが一段と鈍化している
生産	持ち直しのペースが鈍化している	自動車を中心に下押し圧力は続いているが、緩やかな持ち直し基調にある	自動車を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しの動きが一服している
設備投資	下げ止まっている		緩やかに持ち直している
雇用情勢	弱い動きがみられている		弱い動きがみられている
個人消費	サービス消費を中心に下押し圧力が強まっており、持ち直しが一服している	サービス消費を中心に下押し圧力が続いているが、持ち直しが一服している	弱めの動きとなっている
住宅投資	下げ止まっている		持ち直しつつある

2. 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」(令和3年10月1日公表)】

8月分の公表は無し。

「中小企業の動向（令和3年8月）」

【広島県中小企業団体中央会 令和3年9月15日公表】

1.概況

全体的には、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令の影響を受け、景気は横ばいからやや下降傾向である。半導体の不足や自動車メーカーの大幅な減産による影響が業種をまたいで顕著に見られる。また、大雨の影響により営業活動や販売量が減少した業種もある。依然として、様々な業種において先行き不透明感が強く、今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数が前年同月比 2.1%減少と 2 ヶ月連絡をでの前年割れとなった。マツダ車は同 25.4%減少と 3 ヶ月連続の前年割れとなる一方、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月 3.8%増加と 5 ヶ月連続の前年超えとなった。

木材業界は、全国住宅着工数は、前年同月比 9.9%増加となり、広島県内の着工数は前年同月比 36.4%増加となった。回復傾向にあるものの、全国と同様、ウッドショックの影響で春先に表面化した木材の品薄が常態化し、価格の高騰も続いている。

2.景況感・景況感の変化

業種	7月の景況感	8月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	普通	やや好況
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	悪い
土石製品	やや悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	悪い	悪い

業種	7月の景況感	8月の景況感
一般機械器具	やや悪い	やや悪い
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	普通	普通
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	普通	やや悪い
内航海運	悪い	悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位・業種)

景況感	7月	8月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	2	1
普通	5	2	▲3
やや悪い	12	12	0
悪い	2	4	2

「まとめ」

緊急事態宣言も解除され、全国的にコロナウィルス感染者数も減少し、経済は回復傾向にあります。ただ、景気回復に伴い、堅調な需要、供給不足、商品価格の急上昇などにより、インフレが加速しています。

住宅では木材や鉄の原材料が上昇したため、ハウスメーカーや工務店の住宅価格が高くなっており、私達の身近な生活でも、電気やガス代などが高くなり、家計に大きな負担となっています。

私達が「生活が豊かになった」と実感できるようになれば、本当の意味で景気回復と言えるのかもしれないね。

不動産の売却や購入は、「穴吹不動産流通株式会社」へお任せください！

大切なご所有不動産の売却のご提案をさせていただきます。